

谷崎潤一郎の『陰翳礼賛』に学ぶ
竹あかりと和蠟燭の夕べ

六月三十日 「夏越しの祓い」 夕刻*十八時半

『夏詣』前夜祭

舞台：浅草神社の境内&神楽殿

限定30名のみ *先着順にて

参加費：二千円也 *暗闇体験とつまみにて一献

月明かりと和蠟燭の灯りこそ、
日本的な美の本質に触れることが
できると語る谷崎潤一郎の小説
『陰翳礼賛』を神楽殿にて。

江戸の頃の暗闇を、和蠟燭にて
体験してみませんか。



ニッポンの新しい習慣、『夏詣(なつもうで)』

一年半ば、ニッポンは夏の季節を迎えます。初詣の晴れ着を浴衣に替えて、年越しそばに代わりて「夏越しそうめん」を食し、富士山をはじめとする山岳信仰の元に、半年の無事に感謝し、残り半年の平穏を祈るべく神社・仏閣を詣でる。江戸下町から日本全国津々浦々に広めるべく、古来より守り受け継がれてきた生活習慣や行事を生きる力の源と尊び、我々日本人の夏の新たな古き良き風習として根付かせていきます。

主催/ニッポンの新しい習慣づくり夏詣実行委員会



NPO法人江戸前21は、「東京食文化創研究舎」の皆さまと『夏詣』の趣旨に賛同し、文化普及の活動を進めております。

お問合せ 03-3470-7066 お申込み info.edomae21@gmail.com 担当:石山

愛宕神社

ほおずき市*発祥の地

第6回 竹あかりで千日詣り

6/23



この日に社殿前にしつらえた茅の輪(ちのわ)をくぐり
お参りすれば千日分の御利益(ごりやく)があると云わ
れる愛宕神社の千日詣り。
江戸前21では愛宕神社の出世の石段に、有明行灯や
竹あかりを灯しております。点灯式*十九時より、
出世の石段に並べます。

浅草神社

第2回 夏詣

6/30



我々日本人は大晦日に「年越しの大祓」で
一年の罪穢れを祓い清め、翌日の元日は新
しい年に始まりとして、その年の平穏を願
い神社・仏閣に詣でる「初詣」を行います。
その始まりから6ヶ月、同じく罪穢れを祓
い清める「夏越しの大祓」を経て、過ぎし
半年の無事を感謝し来る半年の更なる平穏
を願うべく、年の半分の節目として、7月
1日以降にも神社・仏閣に詣でます。
夏詣での始まる前夜祭。そして「夏越しの
祓い」には、神楽殿や境内の暗がりに、竹
あかりを灯します。

千葉県小江戸佐原

第10回盆ふえすた

8/22

in 佐原 2015

佐原おかみさん会が主催する「盆ふえすた
in 佐原 2015 佐原・町並み・夕涼み」
ゆかたで楽しむ灯りと音」に参加します。
竹あかりでのコラボレーションをお楽しみ
ください。

地域の魅力を光で繋ぐ

竹あかり*江戸三景

